

巖木中学校 学校便り

新 生徒会 議長
杵島 結人 さん

令和4年3月10日



巖木中教育目標

「主体的, 協働的に取り組む生徒の育成」

文責: 校長 古舘洋治

1 明日は 第75回の卒業式!

明日は第75回の卒業式です。1年間学校をリードしてくれた3年生がいなくなるのは寂しいですが、2年生を中心にしっかりと引き継ぐ準備は進められています。3年生も安心してほしいと思います。

さて、今年度を振り返ると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子供たちが楽しみにしていた学校行事が中止や延期、規模の縮小となったり、授業においては、感染拡大を防止するために交流活動が制限されたりと、ICT 教育では味わうことが難しい、人と人が触れ合う活動や、みんなで一つの目標に向かって取り組み、達成感を味わう活動が十分にできなかったことを残念に思っています。同時に、子供たちの中学校生活を充実した満足のいくものにしてあげられなかったのではないかという思いが残る令和3年度でした。また、保護者の皆様には、授業参観を実施できず、学校の活動や子供たちの学習の様子を見ていただくことができなく、不安や心配をお掛けしました。

しかし、残念なことばかりではありません。この突然襲ってきたコロナ禍において、「できないこと」を「どうすればできるか」知恵を出し合い実行したり、感染者や医療従事者を思いやる優しい心に気づいたり、ICT を活用した新たな学習方法等、多くのことにチャレンジしたり、これからの予測できない未来をたくましく生きていくための貴重な経験ができたのではないのでしょうか。この1年を前向きにとらえ、来年度の新たなスタートに繋げてほしいと思います。

保護者の皆様・地域の皆様、本年度の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。少しでもありますが、この学校だよりをとおして、本校の教育活動や子供たちの活躍をお知らせしてきました。来年度は、新型コロナウイルス感染症も終息し、学校へ足を運んでいただける年度になることを願っています。

2 新型コロナウイルス感染症防止!

4月のスタートがみんなのできるように!

☆マスクをしていれば、簡単にはうつらない!
☆身体的距離はしっかり、気持ちは寄り添って!
☆換気の徹底でリスク軽減!
3つのことを丁寧に、しっかりやるのが大切です。そして、手洗い手消毒を小まめに行うこと。家族や友達を守るためには、「外から持ち込まない」が第一です。

身近な方が、PCR 検査を受けたりもしています。他人事ではありません。みんなでやるべきことを意識を高くもってやるのが感染症防止に

なります。

3 全国人権擁護委員連合会学校賞!

全国中学生人権作文コンテストの取り組みが評価されて学校賞をいただきました。



4 佐賀県学童美術展覧会 特選!

2月17日に県審査会が行われました。入賞者は以下の通りです。おめでとうございます。

【立体の部 特選】3年 大場 結衣さん

5 からつ児童生徒俳句・川柳大会!

3月1日に地区審査会が行われました。入賞者は以下の通りです。おめでとうございます。併せて、学校賞をいただいています。

[俳句 中学3年の部]

特選 遠藤 悠姫さん

「ねがいごとするまにきえる流れ星」

入選 中尾 悠力さん

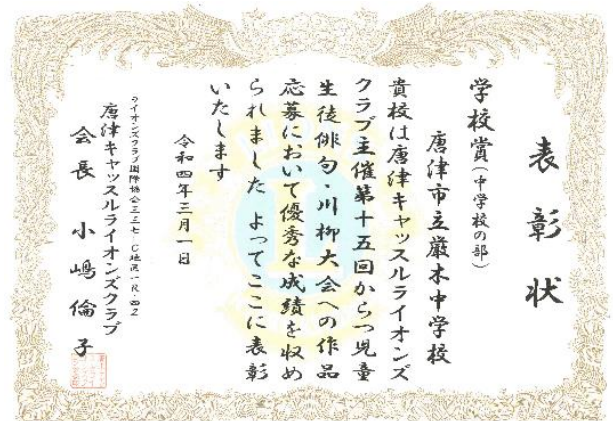
「夕焼けや遊び疲れて帰る道」

佳作 大西 朱花さん

「ただひとつ願いをかなえて流れ星」

佳作 秀島 彩希さん

「大空に尾をなびかせる鯉のぼり」



積極的な自分を演じることができる

やまなかしんや
山中伸弥

きょうの言葉

2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞した医学者の山中伸弥は、ミシンの部品会社を経営する父親から、「お前は経営には絶対向いていない」と言われて育った。好き嫌いが激しい上に感情がすぐ顔に出る、人付き合いが下手なタイプだったのだ。当人も自覚していたので、研究職の道へ進んだ。

ところが、アメリカに留学中、研究者は目立つのも仕事のうちなので、社交的な人間を演じるようにとアドバイスされる。これを実践したことは、後に研究所の所長に就任して多くの人と折衝するようになってから、ずいぶん役に立ったという。

私も少年時代の山中と同様、内向的で、人をとりまとめるのが苦手なタイプだった。しかし、高校時代に学園祭で芝居の演出役を押し付けられたことで、意識が変わった。

集団の中で何らかの役割を担えば、大なり小なり「自分ではない誰か」を演じることになる。すると、これは本当の自分ではないのだから多少悪く思われてもいい、という気持ちになる。自分の行動が他人の目にどう映るかを気にせず、目的達成に集中できるのだ。私は芝居の演出をしてクラスのみんなをリードしたとき、それを学んだ。

演じると割り切って自意識を捨てることを覚えると、生きるのがちょっと楽になるのだ。

(翻訳家・矢口誠)